



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 菱電商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 西村英二 (TEL) 03(5396)6111
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第1四半期 | 46,289 | 31.8 | 596 | — | 631 | — | 339 | — |
| 22年3月期第1四半期 | 35,110 | △32.7 | △574 | — | △469 | — | △306 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 7.81 | — |
| 22年3月期第1四半期 | △7.05 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第1四半期 | 97,235 | 48,485 | 49.9 | 1,116.90 |
| 22年3月期 | 96,990 | 48,743 | 50.3 | 1,122.81 |

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 48,485百万円 22年3月期 48,743百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |
| 23年3月期 | — | — | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 93,500 | 20.7 | 1,470 | — | 1,450 | 1,030.3 | 800 | 596.7 | 18.43 |
| 通期 | 189,000 | 12.1 | 3,030 | 102.2 | 3,000 | 76.1 | 1,720 | 60.9 | 39.62 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 23年3月期1Q | 45,649,955株 | 22年3月期 | 45,649,955株 |
| 23年3月期1Q | 2,238,720株 | 22年3月期 | 2,237,720株 |
| 23年3月期1Q | 43,411,435株 | 22年3月期1Q | 43,422,055株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 4 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 4 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 4 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 4 |
| 3. 連結財務諸表等 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国や新興国需要の伸びに支えられ、着実に回復してきました。しかしながら、内需は依然として力強さに欠け本格的な回復とはいい難く、ギリシャ問題を発端に欧州財政危機や円高等、懸念材料が多く予断を許さない状況が続きました。

当社グループの取引に関する業界も、国内の建設市場は低迷が続きましたが、半導体・液晶関連製造装置や工作機械等の生産設備関連は、外需の影響を受け急速に回復してきました。また、半導体関連は主力のデジタル家電や車載関連を中心に堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、今年度を「利益ある成長戦略」を軌道に乗せる年度と位置付け、新中期経営計画「CP・12 (Challenge Plan 2012)」(3ヶ年計画)をスタートしました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高 462 億 89 百万円(前年同期比 31.8%増)、営業利益 5 億 96 百万円(前年同期比 11 億 70 百万円増)、経常利益 6 億 31 百万円(前年同期比 11 億 0 百万円増)、四半期純利益 3 億 39 百万円(前年同期比 6 億 45 百万円増)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

①FA・環境システム部門

【当第1四半期連結売上高 124 億 66 百万円(前年同期比 13.2%増)、営業利益 1 億 72 百万円】

「FA システム」ビジネスユニット

FA システムビジネスユニットでは、半導体・液晶関連製造装置及び工作機械メーカーで、中国をはじめとした新興国向け需要が急速に立ち上がり、大幅な増収となりました。

結果、FA システムビジネスユニットの連結売上高は 70 億 81 百万円となりました。

「施設・環境」ビジネスユニット

冷熱住機及びビルシステムセクションでは、新規案件の減少に加え、価格競争の激化などもあり、大幅な減収となりました。

情報通信デバイスビジネスセクションでは、新規 IT 投資は抑制されておりますが、主要顧客のパソコン等のリプレースがあり横這いとなりました。

結果、施設・環境ビジネスユニットの連結売上高は 53 億 84 百万円となりました。

②半導体・デバイス部門

【当第1四半期連結売上高 262 億 13 百万円(前年同期比 41.9%増)、営業利益 3 億 0 百万円】

半導体・デバイス部門では、エコポイント政策もありデジタル家電向け電子部品の販売が好調に推移し、自動車電装品関連も堅調に推移しました。また、産業機器関連も中国市場向けを中心に回復傾向にあり、大幅な増収となりました。

また、海外子会社でもデジタル家電やOA機器向け電子部品の販売が好調に推移しました。

③産業デバイス部門

【当第1四半期連結売上高 76 億 7 百万円(前年同期比 35.1%増)、営業利益 1 億 14 百万円】

産業デバイス部門では、社会インフラ関連は堅調に推移し、車載関連もエコカー・小型車向けを中心に順調に推移しました。また、FA 関連は、中国市場向け需要が牽引役となり伸長し、大幅な増収となりました。

(注) 当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

前第1四半期の連結売上高を新セグメントに組み替えて、前年同期比較を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が12億19百万円減少しましたが、商品及び製品が16億73百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比2億45百万円増加し、972億35百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が5億53百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比5億3百万円増加し、487億49百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益3億39百万円と配当金3億90百万円の計上等による株主資本の減少52百万円と、評価・換算差額等の減少2億5百万円により、純資産合計は前連結会計年度末比2億57百万円減少し、484億85百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比0.4ポイント減少し、49.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益を5億22百万円(前年同期比10億33百万円増)計上し、法人税等の支払、投資有価証券の売買や配当金の支払等を行なった結果、99億31百万円の残高となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において営業活動に使用した資金は、7億15百万円(前年同期比46億69百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上5億22百万円、売上債権・たな卸資産・仕入債務の増加によるネット資金の減少16億62百万円、法人税等の支払3億12百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において投資活動に使用した資金は、3億46百万円(前年同期比27億15百万円減)となりました。これは主に、投資有価証券の売買によるネット支出3億7百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間において財務活動に使用した資金は、1億77百万円(前年同期比3億2百万円減)となりました。これは主に、短期借入金の増加1億69百万円と配当金の支払3億46百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成22年5月14日発表の決算短信で公表いたしました数値から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

また、たな卸資産の簿価切下げについては、収益性が低下していることが明らかなたな卸資産についてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行うこととしております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

・繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を採用しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は95百万円減少しております。

連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 9,931 | 11,150 |
| 受取手形及び売掛金 | 50,769 | 50,267 |
| 有価証券 | 143 | 39 |
| 商品及び製品 | 12,180 | 10,506 |
| 短期貸付金 | 9,998 | 9,997 |
| その他 | 2,017 | 2,681 |
| 貸倒引当金 | △87 | △86 |
| 流動資産合計 | 84,952 | 84,557 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 3,944 | 3,971 |
| 無形固定資産 | 433 | 474 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 8,048 | 8,133 |
| 貸倒引当金 | △143 | △146 |
| 投資その他の資産合計 | 7,904 | 7,987 |
| 固定資産合計 | 12,282 | 12,432 |
| 資産合計 | 97,235 | 96,990 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 43,498 | 42,945 |
| 短期借入金 | 169 | — |
| 未払法人税等 | 243 | 361 |
| その他 | 2,079 | 2,143 |
| 流動負債合計 | 45,991 | 45,450 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 1,593 | 1,562 |
| 役員退職慰労引当金 | 182 | 250 |
| その他 | 981 | 983 |
| 固定負債合計 | 2,758 | 2,796 |
| 負債合計 | 48,749 | 48,246 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 10,334 | 10,334 |
| 資本剰余金 | 7,375 | 7,375 |
| 利益剰余金 | 32,160 | 32,211 |
| 自己株式 | △807 | △807 |
| 株主資本合計 | 49,061 | 49,113 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △63 | 176 |
| 為替換算調整勘定 | △512 | △546 |
| 評価・換算差額等合計 | △575 | △369 |
| 純資産合計 | 48,485 | 48,743 |
| 負債純資産合計 | 97,235 | 96,990 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 35,110 | 46,289 |
| 売上原価 | 32,075 | 42,028 |
| 売上総利益 | 3,035 | 4,260 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,609 | 3,664 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △574 | 596 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 7 |
| 受取配当金 | 26 | 24 |
| 持分法による投資利益 | 24 | 37 |
| 為替差益 | 30 | 14 |
| その他 | 62 | 21 |
| 営業外収益合計 | 145 | 106 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8 | 6 |
| 売上割引 | 18 | 16 |
| 支払補償費 | — | 25 |
| その他 | 13 | 23 |
| 営業外費用合計 | 40 | 71 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △469 | 631 |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 94 |
| 投資有価証券評価損 | 42 | 13 |
| 特別損失合計 | 42 | 108 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △511 | 522 |
| 法人税等 | △204 | 183 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 339 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △306 | 339 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △511 | 522 |
| 減価償却費 | 149 | 104 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 19 | △1 |
| 受取利息及び受取配当金 | △28 | △32 |
| 支払利息 | 8 | 6 |
| 為替差損益(△は益) | △0 | 0 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △24 | △37 |
| 有価証券償還損益(△は益) | △0 | — |
| 固定資産除売却損益(△は益) | △2 | 1 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △27 | △4 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 42 | 13 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 94 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 4,861 | △508 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 1,091 | △1,652 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △2,125 | 499 |
| その他 | 491 | 557 |
| 小計 | 3,942 | △435 |
| 利息及び配当金の受取額 | 48 | 38 |
| 利息の支払額 | △7 | △5 |
| 法人税等の支払額 | △30 | △312 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,953 | △715 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の償還による収入 | 100 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △41 | △18 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 | 0 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △53 | △8 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △130 | △380 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 63 | 73 |
| 短期貸付金の増減額(△は増加) | △2,999 | △1 |
| その他 | △3 | △11 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,061 | △346 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △52 | 169 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | △1 | △0 |
| 配当金の支払額 | △426 | △346 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △480 | △177 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 102 | 19 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 514 | △1,219 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,924 | 11,150 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 11,439 | 9,931 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

| | 産業システム 部門 | 電子・情報通信 デバイス部門 | その他 | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|---------------------------|--------------|-------------------|-----|--------|--------|--------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 9,924 | 25,185 | 0 | 35,110 | - | 35,110 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | 3 | 65 | 68 | (68) | - |
| 計 | 9,924 | 25,188 | 66 | 35,178 | (68) | 35,110 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △ 148 | △ 434 | 13 | △ 570 | (4) | △ 574 |

(注) 1. セグメンテーションの方法については、社内管理上使用している事業区分を適用しております。

2. 各事業の主な製品

- ①産業システム部門 昇降機、パッケージエアコン、サーボシステム、NC装置他
- ②電子・情報通信デバイス部門 半導体製品、電子部品、液晶、液晶モニター他
- ③その他 リース他

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

| | 日本 | アジア | 計 | 消去又は全社 | 連結 |
|---------------------------|--------|-------|--------|---------|--------|
| 売上高 | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 31,956 | 3,153 | 35,110 | - | 35,110 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,441 | 255 | 1,696 | (1,696) | - |
| 計 | 33,397 | 3,409 | 36,806 | (1,696) | 35,110 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △ 597 | 13 | △ 584 | 10 | △ 574 |

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア : シンガポール、中国、タイ

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：百万円)

| | アジア | その他の地域 | 計 |
|----------------------------|-------|--------|--------|
| I. 海外売上高 | 3,833 | 918 | 4,751 |
| II. 連結売上高 | | | 35,110 |
| III. 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%) | 10.9 | 2.6 | 13.5 |

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

アジア : シンガポール、中国、タイ

その他 : チェコ、アメリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業本部を基礎とした商品別のセグメントから構成されており、「F A・環境システム事業」、「半導体・デバイス事業」及び「産業デバイス事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要商品は以下のとおりです。

F A・環境システム事業…サーボシステム、インバータ、NC装置、昇降機、パッケージエアコン、液晶モニター
環境・省エネ設備関連品、I T関連機器

半導体・デバイス事業 …メモリ、マイコン、ASIC、パワーデバイス、光関連素子

産業デバイス事業 …一般電子部品、機構部品、素材、金属加工品、樹脂加工品

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|----------------|--------------|------------|--------|-------------|--------|-------------|-----------------------|
| | F A・環境 システム | 半導体・ デバイス | 産業 デバイス | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,466 | 26,213 | 7,607 | 46,288 | 0 | 46,289 | - | 46,289 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5 | - | - | 5 | 53 | 58 | △58 | - |
| 計 | 12,471 | 26,213 | 7,607 | 46,293 | 53 | 46,347 | △58 | 46,289 |
| セグメント利益 (営業利益) | 172 | 300 | 114 | 588 | 11 | 600 | △4 | 596 |

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引消去であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。